

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

医薬品（解熱鎮痛剤）の誤飲による急性薬物中毒の疑い（No.67 医薬品の誤飲による中毒の類似事項 5）㊦

事例	基本情報	年齢：1 歳 9 か月 性別：女児 体重：12kg 身長：不明
	家族構成	父、母、同胞(12 歳・4 歳・2 歳)、本児
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		急性薬物中毒の疑い
医 療 費		入院 179,440 円 外来 0 円
原因対象	対象名称	アセトアミノフェン
	入手経路 使用状況	母の薬として病院で処方された。PTP（press through pack）包装を 1 錠ずつに切り離した状態で母の化粧ポーチ内に保管していた。
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人 周囲の環境	家族全員
	発生年月日	2025 年 2 月 X 日（水） 午前 8 時 0 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	母が薬を入れた化粧ポーチを服用のために床に置いた。その後、室内で洗濯物を干していた。父は 2 歳の姉に食事をさせていた。午前 8 時 0 分、本児が床に座り込んでおり、そばに破れた PTP が落ちていることに母が気がついた。確認したところ、アセトアミノフェン(500 mg) 4 錠とムコダイン(250 mg) 8 錠がなくなっていた。本児が口に入れているところを目撃した人はいない。
医療機関受診時 以降の治療経過 転帰		午前 8 時 30 分に医療機関に到着。直ちに胃洗浄を行い、胃管内の排液が透明になるまで施行し、その後活性炭 10 g・下剤としてモビコール 1 包を注入して終了した。処置中に 1 回、嘔吐を認めた。急性中毒標準診療ガイド（監修・日本中毒学会）に記載のある 72 時間プロトコールに従って、午後 1 時 20 分よりアセチルシステインを投与した。摂取 4 時間後・12 時間後にアセトアミノフェンの血中濃度を採血した。X+2 日に血中濃度は 5 $\mu$ g/mL 未満であると判明し、アセチルシステインを中止し、退院した。摂取 24 時間後・72 時間後の肝機能・腎機能は正常であった。
キーワード		薬物誤飲、胃洗浄、アセトアミノフェン